

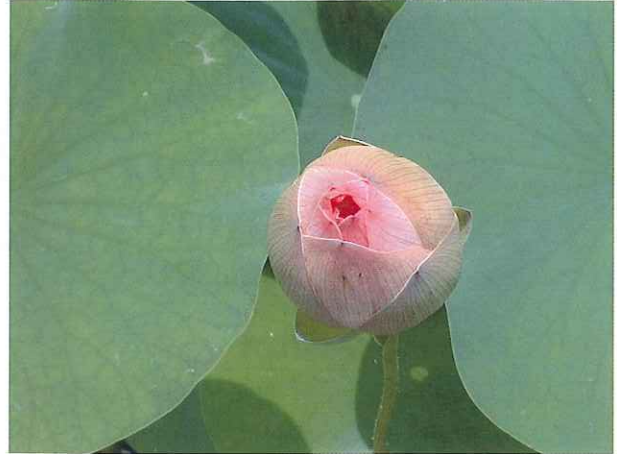


Karatsu

環境だより

VOL.
3

編集/発行：2008.8.1 唐津市環境対策課 TEL 0955-72-9124



ハス（蓮）はハス科の多年性水生植物。蜂の巣状の花托^{カタク}に果実が実ることからハチス → ハスという名になったと言われています。根の部分（実際は地下茎）は食用にされ、蓮の根すなわち蓮根（レンコン）と呼ばれる。美しい花を見たり、林や森を歩くと気持ちが落ち着きませんか。木々の緑は地球温暖化の原因になっている二酸化炭素を吸収し酸素を供給してくれます。

（写真は、市内のお寺で去年撮影したものです）

エコドライブ

毎日私たちは、テレビを見たり、お風呂に入ったり、自動車に乗るなど、生活のいたるところで電気やガス、ガソリン、灯油などのエネルギーをたくさん使っています。

温室効果ガスの一つである二酸化炭素はガソリンや灯油を燃やすときに大量に発生します。温室効果ガスが大量に増えると、大気中の熱が宇宙に放出されにくくなり、地球がどんどん暖かくなってしまいます。

暖かくなると、異常高温、海面上昇、台風の強大化、水不足、作物がとれなくなる、生き物がいなくなる、熱帯の病気が流行するなど、わたしたち人間やほかの生き物もとても暮らしにくくなります。

個人で出来る地球温暖化を防ぐひとつの方法として、**エコドライブ**があります。

車は、発進時に多くの燃料を消費します。ふんわりアクセル「エコスタート」から始めましょう。ガソリン代の節約になります。

これを実践すれば、およそ10%程度の燃費改善が見込まれています。（財団法人省エネルギーセンター調べ）

焦っていると、ついついアクセルを踏みすぎてしまうものです。早めに出発してゆったりとした気分で運転をしましょう。





エコドライブ10のススメ



>> 1 ふんわりアクセル「eスタート」

「やさしい発進を心がけましょう。」普通の発進より少し穏やかに発進する（最初の5秒で時速20キロが目安です）だけで11%程度燃費が改善します。



ふんわりアクセル

>> 2 加減速の少ない運転

「車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。」車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。また、同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が燃費が良くなります。

>> 3 早めのアクセルオフ

「エンジンプレーキを積極的に使いましょう。」エンジンプレーキを使うと、燃料の供給が停止されるので、2%程度燃費が改善されます。



>> 4 エアコンの使用を控えめに

「車内を冷やし過ぎないようにしましょう。」特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。

>> 5 アイドリングストップ

「無用なアイドリングをやめましょう。」10分間のアイドリングで130cc程度の燃料を浪費します。



エンジンかけたまま?

>> 6 暖機運転は適切に

「エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。」5分間エンジンを暖めると160cc程度の燃料を浪費します。

>> 7 道路交通情報の活用

「出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう。」



>> 8 タイヤの空気圧をこまめにチェック

「タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう。」

>> 9 不要な荷物は積まずに走行

「不要な荷物を積まないようにしましょう。」100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。

>> 10 違法駐車はやめましょう

交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出させる原因となります。

～こんな事業をやっています～

唐津市つみ・やま・かわ環境調和のまちづくり事業を実施中

この事業は、唐津市のすばらしい環境に恵まれた自然環境を守り、次の世代に引き継ぐことを目的としています。市民参加による自主的、主体的および継続的に取り組む、自然環境と調和した活動を募集し、経費の二分の一に相当する額を補助しています。

今年度は16件の事業を採択し、環境保全のためさまざまな活動を展開しています。



(下平野桜の会)



(鳥島を語ろう会)



(町田川いやしとにぎわいづくりの会)

家庭用使用済蛍光灯の回収をはじめました。



家庭用使用済蛍光灯の分別収集およびリサイクルを実施しています。市役所本庁・各支所及び職員が常駐している公民館に、専用の回収箱を設置し回収を行っています。

蛍光灯には水銀などの人体に有害な物質が入っていますので、割らずに回収箱まで持ってきていただくようご協力をお願いいたします。割らずにリサイクルしましょう。

なお、事業所から排出される使用済蛍光灯は、市では回収できません。産業廃棄物として各事業所において適正に処理をお願いします。

お問い合わせ 唐津市 市民環境部 廃棄物対策課 ☎72-9175

太陽光発電に助成します。

太陽光発電は発電時に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を出さない、環境にやさしい発電方法です。

佐賀県では、太陽光発電の新規設置者への助成事業「太陽光発電トップランナー推進事業」を実施しています。平成20年4月1日から平成21年3月31日までに住宅用太陽光発電を設置されたご家庭で太陽電池の容量に応じて、1kwあたり1万5千円を乗じて得た額を助成します。

(助成額の上限：6万円。1,000円未満切り捨て)

※お申し込みの締切日

平成21年3月31日

※お問い合わせ先

佐賀県地球温暖化対策課

☎ 0952-25-7474



絶滅危惧種Ⅰ類のアサクサノリを 市内の川から発見か？

数年前から探していた環境省の絶滅危惧種Ⅰ類のアサクサノリと思われる海藻を唐津市内の川の河口域で採集しました（写真）。

北海道大学名誉教授吉田忠生先生に見ていただき、アサクサノリに間違いないだろうとのお話で、来春に再調査を予定しています。

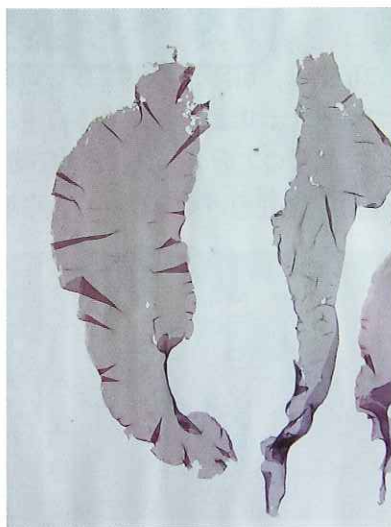
アサクサノリの野生種は、東アジアの一部（日本、朝鮮半島）に分布し、1960年代までは、北海道から九州の太平洋側各地の内湾に分布していました。

1960～1970年頃に、オオバアサクサノリやナラウスサビノリの養殖が確立されました。その普及が進むにつれアサクサノリ野生種の養殖がされなくなり、さらに干拓・埋立・水質汚染などで自生に適した環境が失われることにより自生地が激減しました。

環境庁や水産庁がレッドデータブックを作成し始めた1990年代前半には、日本全国でわずかに4か所しかアサクサノリの自生種を見つけることができませんでした。その後の全国調査（3カ年）でも、宮城県で4か所、三重県と山口県で各1か所、熊本県で2か所、すなわち全国で8か所しか自生地が見つかっていません。



（採取場所の風景）写真提供：阪本登氏



（アサクサノリ標本）

今回の記録は、全国で9か所目、もちろん佐賀県の記録としては、初めてのことになります。唐津地区の海産生物は、ほとんど調査されていないのが現状です。今後の調査で、貴重な生物が見つかる可能性を秘めています。

唐津の海は、まだまだ「汚染されていない海」だと言えます。だからこそ唐津市民がその重要性を理解し、みんなで自然環境を守っていききたいものです。

寄稿者 玄海地区海藻研究会 代表 飯田勇次氏

この会は、日本藻類学会をはじめ、佐賀県内外の研究・保護機関及び団体または個人と連携をとりながら、玄海地区の海の環境をよりよく次世代へ継承するためにさまざまな活動を行なっています。

平成20年度唐津市うみ・やま・かわ環境調和のまちづくり事業の採択団体で、玄海地区の海藻の生息状況や生育地を調査し、その成果を「自然環境保全や環境教育」に活用していきます。